

理科教員養成プログラムの学生は『教職課程受講ガイド』も参照してください。

1 カリキュラム・ポリシー

農学部の教育理念・基本方針ならびに学位授与方針に基づいて、入学者（学習者）が主体的に学習に取組み、教職員による教育・支援および指導の下で自らの目標を達成できるよう体系的な教育課程を設けている。また、この教育課程の編成に当たっては、社会が要請する「学士力の養成」や「キャリア形成」、すなわち大学を卒業した者が備えているべき資質も重視している。

生産農学科については、以下の方針に基づいて教育課程を構成する。

- ① 全学共通科目群として「ユニバーシティ・スタンダード科目群」を設置する。
- ② 生産農学科専門科目群については1年次生が履修する100番台科目、2年次生以上が履修する200番台科目、3年次生以上が履修する300番台科目、4年次生が履修する400番台科目に分類する。科目番号（ナンバリング）によって履修順序を示し、学年進行に伴って基礎的知識から専門的知識の修得へと体系的に進んでいくように配置する。
- ③ 実験の基礎技術や応用技術を修得できるように実験科目を配置する。1年次、2年次には「基礎生物学実験」、「基礎化学実験」、「生物化学実験」を配置、3年次には「専門実験・実習Ⅰ・Ⅱ」を配置し、実験のスキルアップを図る。
- ④ 実習の基礎知識や専門知識を修得させるために、1年次および2年次に「フィールド実習Ⅰ・Ⅱ」を配置する。また、3年次に配置する「フィールド実習Ⅲ」では、北海道、神奈川県（箱根町）、鹿児島県の学外農場を利用し、それぞれの地域の特徴ある実習を体験し、さらなる技術の修得を図る。
- ⑤ 3年次には「生産農学演習Ⅰ」を配置し、4年次には「生産農学演習Ⅱ・Ⅲ」また4年間の集大成として、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」や「卒業研究論文」を配置し、それぞれの研究に携わる。

2 カリキュラムの特徴

1 生産農学科科目には、必修科目、選択科目があります

必修科目 <small>（講義・実験・実習・演習）</small>	生産農学科で学ぶうえで最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。
選択科目	各自の必要に応じて履修する科目 <small>（環境農学科科目・先端食農学科科目・教職関連科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）</small>

2 領域配属（理科教員養成プログラムを除く）

●生産農学科には、「植物科学領域」「微生物科学領域」「昆虫科学領域」「動物科学領域」の4領域があります。第4セメスター終了時の進度チェックを充足すると、第5セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

- ① 第4セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属が決定されます。
- ② 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数はあらためて連絡します。
- ③ 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第4セメスターに領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細はあらためて連絡します。

3 卒業要件

- (1) 修業年限をみたすこと
-
- (2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
-
- (3) 累積GPAが2.00以上であること
-
- (4) ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること
- 〈必修科目〉 玉川教育・FYE科目群：
「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
自然科学科目群：「化学入門」「生物学入門」「解析学入門」
-
- 〈必修選択科目〉 言語表現科目群：
「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」のいずれかを含むELF科目 8 単位以上
-
- (5) ユニバーシティ・スタンダード科目の各科目群より上記（4）で示した必修および必修選択科目の単位を含み、次に指定する単位数を修得していること
- 人文科学科目群：4 単位以上 社会科学科目群：4 単位以上
自然科学科目群：6 単位以上 学際科目群：2 単位以上
言語表現科目群：8 単位以上
-
- (6) 生産農学科科目について、次の必修講義科目19単位を修得していること
- 〈必修科目〉 100番台科目：「生産農学セミナー」「化学」「栽培学」「生物学」「有機化学Ⅰ」「分析化学」
200番台科目：「生態学」「生化学」「分子生物学Ⅰ」「生物統計学」
-
- (7) 生産農学科科目について、次の必修選択科目から6単位を修得していること
- 〈必修選択科目〉 ~~100番台科目~~：「植物形態学」「昆虫資源学」「微生物学」「有機化学Ⅱ」
細胞生物学
~~200番台科目~~：「細胞生物学」
-
- (8) 生産農学科科目について、次の必修科目の実験・実習・演習科目（「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究論文」を除く）18単位を修得していること
- 100番台科目：「基礎生物学実験」「基礎化学実験」「フィールド実習Ⅰ」
200番台科目：「生物化学実験」
300番台科目：「専門実験・実習Ⅰ」「専門実験・実習Ⅱ」「生産農学演習Ⅰ」
400番台科目：「生産農学演習Ⅱ」「生産農学演習Ⅲ」
-
- (9) 生産農学科科目の「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究論文」を修得していること

※生産農学科理科教員養成プログラムに関する卒業要件は、p.83を参照。

4 卒業までの単位配分

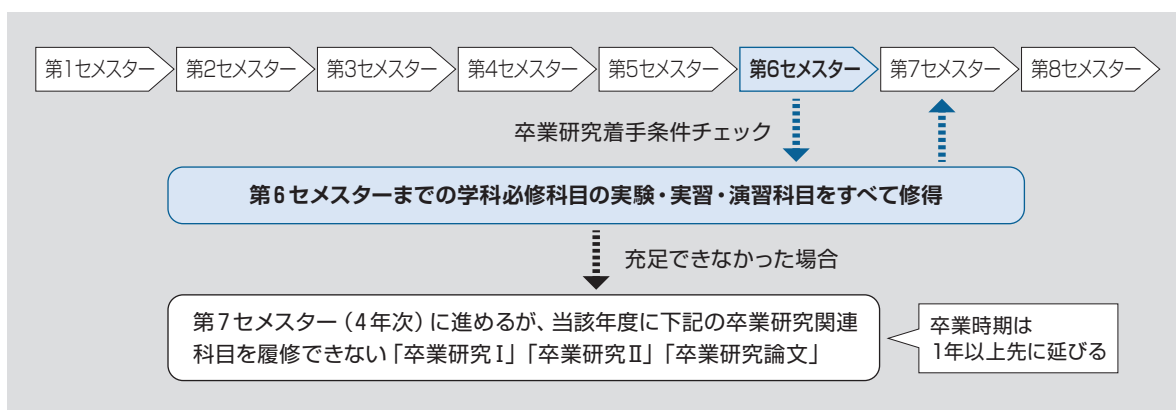
- 卒業に必要な最少単位数は、第1 Semesterから第8 Semesterまで、合計124単位で、生産農学科の場合その内訳は次のとおりです。

科目群	科目分類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群	7単位
	人文科学科目群	4単位以上
	社会科学科目群	4単位以上
	自然科学科目群	6単位以上
	学際科目群	2単位以上
	言語表現科目群	8単位以上
		合計24単位以上 「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」のいずれかを含む ELF科目8単位以上
生産農学科必修科目	必修講義科目	25単位（必修選択科目6単位を含む）
	必修実験・実習・演習科目	28単位（「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究論文」を含む）
選択科目	生産農学科選択科目	
	他学科開講選択科目	
	他学部開講科目	
	ユニバーシティ・スタンダード科目	
	他大学との単位互換科目	
累積修得単位		124単位以上

5 履修条件

- 第6 Semester終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、卒業研究に着手できません。

■第6 Semester（3年次）終了時における卒業研究着手条件チェック



6 履修上の留意事項

- ① C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.48を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたうえで、適切に手続きを行ってください。
- ② 時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合もありますので、UNITAMAおよび大学7号館の掲示を十分確認してください。
- ③ 「フィールド実習Ⅲ」、「インターンシップ」は3年次の夏期休暇等を利用して実施されます。これらの科目の履修希望者は事前ガイダンスに必ず出席してください。これらの科目は希望者が多数の場合、ガイダンス出席者に対し抽選または審査を行う場合があります。「フィールド実習Ⅲ」の履修登録・単位認定は第6セメスターに行います。
- ④ 理科教員養成プログラムの科目は、教職課程の受講許可を受けた学生だけが履修することができます。

7 生産農学科理科教員養成プログラム

- 農学部における教育職員免許状の取得にあたっては、教職課程（理科教員養成プログラム）を受講し、次ページの卒業要件を充足させることにより、免許状取得と卒業が可能となります。次ページの理科教員養成プログラム受講生に対する卒業要件は、生産農学科に所属する他の学生に対する卒業要件（p.80）とは異なるので注意してください。
- 理科教員養成プログラムで履修する科目については、生産農学科の教育課程表（p.84～85）の「履修条件：理科教員養成プログラム」の欄を参照するとともに『教職課程受講ガイド』に記載されている受講条件および履修上の留意事項を参照してください。

8 カリキュラム・ポリシー（生産農学科理科教員養成プログラム）

理科教員養成プログラムについては、以下の方針に基づいて教育課程を構成する。

- ① 全学共通科目群として「ユニバーシティ・スタンダード科目群」を設置する。
- ② 専門科目群については、1年次生が履修する100番台科目、2年次生以上が履修する200番台科目、3年次生以上が履修する300番台科目、4年次生が履修する400番台科目に分類する。科目番号（ナンバリング）によって履修順序を示し、学年進行に伴って基礎的知識から専門的知識の修得へと体系的に進んでいくように配置する。
- ③ 専門科目の中核となる科目については、自然科学の幅広い知識を豊富な科目群の中から学生が選択して学べるようにする。
- ④ 理科や農業に関する知識を深めることと並行して、1年次から「教職関連科目」を履修し、教職に就くために必要な知識と姿勢を確実に、早い段階から、身に付けることができるようにする。
- ⑤ 自然科学の幅広い分野の知識と実践能力を獲得し、国民全体の科学技術リテラシーの向上と、児童・生徒の理科離れ等の諸問題に対応できるようにする。

9 卒業要件

- (1) 修業年限をみたすこと
-
- (2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
-
- (3) 累積GPAが2.00以上であること
-
- (4) ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること
- 〈必修科目〉 玉川教育・FYE科目群：
「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
-
- 〈必修選択科目〉 言語表現科目群：
「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」から4単位以上
-
- (5) ユニバーシティ・スタンダード科目の各科目群より上記(4)で示した必修および必修選択科目の単位を含み、次に指定する単位数を修得していること
- 自然科学科目群：6単位以上
-
- (6) 理科教員養成プログラムが指定する生産農学科科目の次の必修講義科目11単位を修得していること
- 〈必修科目〉 100番台科目：「生産農学セミナー」「化学」「生物学」
200番台科目：「有機化学」「生化学」「生物統計学」
-
- (7) 理科教員養成プログラムが指定する生産農学科科目の次の必修科目の実験・実習・演習科目8単位を修得していること
- 100番台科目：「基礎生物学実験」「基礎化学実験」「フィールド実習Ⅰ」
400番台科目：「教材研究」
-
- (8) 教育職員免許状（最低1つ）を取得するために必要な科目を修得し、要件を満たしていること